

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！

# 角栄・鉄労・萬、動労の足元ゆるみ、新潟全県下を席卷

全国上映  
8月30日

# 日刊 動労千葉

86.9.9  
No.2346

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

上越 8月10日  
「鉄労・萬の動労の中からも決起」

「俺たちは鉄路に生きる」上映会が、新潟県下三カ所のトップを切つて、八月十日、上越市・婦人会館において四〇名の参加で行われた。国労の役員や鉄労の労働者の参加もかちとられ、執行部がこぞつて参加した民間単産もあった。

映画の後、動労千葉の林態吉特別執行委員があいさつにたち、「分割・民営化阻止のたたかいはこれからだ。三里塚は閣議決定しても二〇年も空港の完成を阻止している。分割・民営化もわれわれ国鉄労働者が職場でがんばり通せば阻止できる。九・一四三里塚に共にたちあがろう」と訴えた。



下越 8月24日  
「百二十名で大成功」  
「国労・国南労先頭」

新潟上映会は八月二十四日、新潟市・下越婦人会館において行われ、国労・全通

映画と林氏のあいさつに感動したある労働者は「今の組合執行部の腐敗を感じた。浅草橋の意味がよくわかった。自分もストライキをやってみよう」とアンケートにこたえている。また、鉄労の労働者は「労働者に犠牲を強いる分割・民営化に反対する」と書いた。さらに、元日共闘員の老人が、戦後、日共の労働者に対する裏切りについて語り、動労千葉と三里塚勢力に期待していると熱く述べた。

集会にむけての組合オルグでは「私も分割・民営化に絶対反対だ。（動労大会に杉浦が出席したことについて）労働組合の大会に会社の社長をよんだりすれば組合はダメになってしまう。私もストライキかと思つています」（全港湾）、「二八人も首切りされてがんばっているのは本当にたいしたものですね」（争議団）、「松崎は新会社の社長になるうとしていないのか、許せない」（国労OB）という声が多く聞かれた。

・自治労・労金・国関労・民間小中労組  
・新潟大学教官・新潟大学生・高校生・市民など、一二〇名余名が参加して大成功をおさめた。  
動労千葉からは吉岡教宣部長と重見特別執行委員がかけつけ、集会の成功をけん引した。

開会のあいさつで吉岡氏は「分割・民営化絶対反対を貫くことこそ国鉄労働者全体の生きる道。第一波・第二波のストライキでその突破口をひらいた。十二万人首切りを許さずさらにはたたかう。国労の決起を心から訴える」と述べ、大きな拍手で確認された。上映後、重見氏が「一週間にわたつて新潟市内の各労組を五〇カ所以上まわった。どこでもまじめに聞いてくれた。『俺たちは鉄路に生きる』（中野委員長・著）やチケットを即金で買ってくれるところも多く、あらためて自分達のたたかいは正義性を確信した」と述べ、さらなる闘いへの決意を語った。

その後、質疑・討論に入り、参加者からさまざまな意見が寄せられ、動労千葉のたたかいは分割・民営化に対する関心の高さが示された。動労の総評脱退に対する怒りや疑問、また国労はなぜ動労千

新潟県下、上越地区でも動労千葉のストライキへの共感と動労カクマル松崎への怒りは幅広くひろがっている。（上越上映会）



葉のようにたたかわないのか、本当に分割・民営化を阻止できるのか。動労千葉の三里塚闘争支援の意味について等々、率直な質問・意見が多く出された。

多数参加している国労の仲間から二人の青年部員が発言した。一人は「動労千葉が自分たちとかわらない国鉄労働者であることをこの目で見てホットしている。国労本部は、これ以上右傾化しないほしい」、他の一人は「地本は職場で孤立している自分のような青年に確信を深める提起を何もしない。本当にやみ続けたが今、動労千葉のたたかいはめぐりあい、これならがんばれると思つている」と述べ、あたたかい拍手をあげた。さらに国関労の労働者は動労の身勝手な生きのこり策動によつて玉つき解雇が出ていると怒りをこめて報告した。こうして活気あふれる討論は一時間半にもわたつて続けられた。

動労千葉の労組オルグと上映会の成功によつて県下の国鉄分割・民営化阻止をたたかう潮流は急速に形成されてきており、この力を九・十月の決戦に発揮するならば必ず勝利できるといふ確信を国鉄労働者ももつていたる成果をあげることができた。（下越上映会・寄稿）

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！